

# 砂丘の魅力を見直し！

## サミットHR工法シリーズ③ 鳥取砂丘ビジターセンター

鳥取県を代表する景勝地の一つ「鳥取砂丘」。この魅力を余すことなく伝える施設「山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター」(鳥取市)が10月26日、オープンした。構造躯体にSMB建材(東京都、角柄明彦社長)の木質2方向ラーメン構造「サミットHR工法」を採用し、同工法の特徴の一つでもある大空間を生かした空間内に、多彩な展示が広がる。同センターは、鳥取県と鳥取市、環境省が共同で運営するもので、年間10万人の来場者を見込んでいるという。鳥取砂丘を訪れる人の知識を深め、また、広大な砂丘を歩き回った来訪者の憩いの場として、砂丘に寄り添い、砂丘の今昔を語り継いでいく。

### 大空間が展示の可能性を広げる

情報発信の拠点に  
同センターは、網野市(京都府京丹後市)から鳥取砂丘まで約75キロに及ぶ山陰海岸国立公園に位置する。同公園を中心に京都府、兵庫県、鳥取県にまたがる東西約120キロの広大な土地は「山陰海岸ジオパーク」として、ユネスコ世界ジオパークネットワーク観は、「日本一の砂丘」とも称される。

同センターは、鳥取砂丘の東の玄関口

同センターは、鳥取砂丘の東の玄関口



現在、一口に鳥取砂丘と呼ばれている地帯は、同センターがある一浜取砂丘、砂丘東の「福部砂丘」、砂丘西の「瀬山砂丘」の3つの顔に過ぎない。福部砂丘は、かつては砂を巧みにコンクリートで固めた遊歩道が、香うた砂丘の歴史を深



入り口付近にわたる階段があり、展示室に誘導する

砂丘の歴史をひも解いてみれば、過去、人は砂を巧みにコンクリートで固めた遊歩道が、香うた砂丘の歴史を深

また、ス

また、ス

また、ス

また、ス

また、ス

また、ス



塚田 社長

### SMB建材

また、ス